

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35237
事業名	文化芸術情報発信費					
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課				
	課長名	木戸 拓史	担当者名	笠島 沙喜・高橋 由	電話番号	011-211-2261
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費		<input type="radio"/> 臨時的経費			
	<input type="radio"/> 内部管理		<input type="radio"/> 法定経費		<input type="radio"/> 指定管理	
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他				
	目的	短期	文化芸術活動を行う団体や個人に対する広報の支援を行うとともに、市民に文化芸術に関する情報をわかりやすく提供する。			
		長期	文化芸術に関する情報の集約及び発信を行い、市民や観光客などが文化芸術に触れやすい環境を整備することにより、本市における文化芸術の振興を図る。			
	取組内容	文化芸術・観光・交通・イベント・ショッピングに関する情報を提供する大通情報ステーション及びホームページを運営する。 ○所管部:政)都心まちづくり推進室(予算委託)				
	実施結果	令和3年度における大通情報ステーションの来場者数は13,475人、ホームページアクセス件数は64,948件であった。(※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大通情報ステーションは令和3年4月24日から5月2日まで18時までの時短営業、5月3日から7月11日及び7月22日から9月30日まで休館)				
事業実施における工夫点	観光・文化情報の集積・発信業務に加えて、交通・イベント・ショッピングなどの情報を扱うことにより、総合的な情報窓口として機能できるように取り組んでいる。					
対象者	市民、観光客	開始	平成19年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例					
他都市の状況	施設ごとのホームページや広報誌など、限られた情報ツールでの提供に留まっている。□					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	12,443	13,024	12,377	12,377	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
人件費	1,440	1,440	1,440	1,440	
計(事業費+人件費)	13,883	14,464	13,817	13,817	
事業費の内訳	令和3年度決算	施設運営費用12,377千円(都心まちづくり推進室への委託額)			
	令和4年度予算	施設運営費用12,377千円(都心まちづくり推進室への委託額)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	印刷物取扱数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	1,416件	3,700件	930件	1,500件
	指標名			
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	指標名	来場者数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標1	26,936人	111,000人	13,475人	30,000人
	指標名	ホームページアクセス数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	75,240人	108,000人	64,948人	80,000人
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	すべての評価指標が減少している状況であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、文化芸術活動をはじめ、各種行事の実施ができなかったこと及び感染拡大防止のため、令和2年度を超える休館・時短営業を余儀なくされたことが原因と考える。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	来場者数・印刷物取扱数・ホームページアクセス数ともに、前年度より減少しているものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い各種行事数の減少によるものであり、市民に文化芸術に関する情報を分かりやすく提供するという目的を達成するうえでは、事業規模は適切であると考えている。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	個人情報等の取扱いに留意しつつ、業者への委託により運営を行っており、事業の実施手法は適切である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	文化芸術に関する情報に加えて、観光・交通・イベント・ショッピングに関する情報も扱っているほか、英語・中国語での窓口対応も可能となっており、広く来場者のニーズに応えている。また、市内の文化芸術団体の情報発信の場として認知が進み、幅広く活用されている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	特になし			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	特になし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	平成27年の情報発信の場として定着しており、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響は受けながらもその機能は適切に活用されているところ。文化芸術活動の再開も進む中、現状の事業を維持するとともに、利用者や観光客の利便性を確保していく。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 文化芸術活動の情報発信の場として定着しており、令和4年度においても、新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら、現状の事業を維持・継続することにより、利用者や観光客の利便性を確保していく。		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 事業内容は同規模とする。		見直し効果額 0 千円